

苫小牧市企業インターンシップ受入支援事業企画運営業務の
公募型プロポーザルに係るご質問への回答

【質問①】

(質問内容)

15社以上の目標とあるが、参加企業は夏のインターン（7～9月）までに15社以上集めておかなければいけないということか。

(回答)

支援企業15社が揃った状態でプログラムをスタートすることが望ましいですが、事業効果や運営の効率性を高める上で必要な場合には、例えば、夏インターンでの受入れを目指す企業と、秋冬インターンでの受入れを目指す企業を分けて募集するなど、スケジュールを分けて支援を行うというようご提案も可能です。

ただし、募集時期を後ろ倒すことで、企業の活動期間（支援期間）が短くなることに留意し、事業終了までに必要な支援を十分に実施できるよう配慮してスケジュールを組むようお願いいたします。

【質問②】

(質問内容)

過去の類似事業における苫小牧市内企業のインターンシップ受入実績数は。

(回答)

類似事業（市内大学インターンシップ支援事業）の過去の受入実績は以下のとおりです。 ※いずれも有償インターンシップとして実施したものです。

- 令和4年度 37人（登録企業55社）
- 令和5年度 27人（登録企業74社）
- 令和6年度 12人（登録企業86社）

【質問③】

(質問内容)

大学3・4年生以外の学生の希望者がいた場合は、受け入れても差し支えないか。また、大学3・4年生以外を事業成果にカウントしてもよいか。

(回答)

本事業は、企業の新卒採用の実現を目的としてインターンシップを支援するものであることから、原則として、提案仕様書「7 支援対象企業の要件」の(2)に記載の者を対象として受入れを目指すものとします。

ただし、本事業においては採用の成否のみならず、インターンシップの受入に係る実務を体験し、企業がノウハウを蓄積することも重要と考えられることから、大学3・4年生からの応募がなく、受入れが0人となる恐れがある場合は、他の学年の受入れも可とします。

この場合、「インターンシップ等受入人数」の目標値については、提案仕様書「7 支援対象企業の要件」の(2)の要件に基づいて設定いただき、他学年を含めた人数については補足的な指標として、別途管理していただくようお願いいたします。

【質問④】

(質問内容)

弘前大学及び駒澤大学との協定について記載があるが、参加者募集や周知以外（学内説明会に出られる等）で具体的にどのような連携が可能か。

(回答)

現時点で、学内説明会への参加など確約されている連携内容があるわけではなく、ご提案を踏まえて、今後調整となります。